

平成26年度決算に係る

定期監査 決算審査 調査 調書

平成27年8月

未来づくり推進局鳥取力創造課

〔組織名の変更〕
元気づくり総本部元気づくり推進局参画協働課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	3 頁
7	決算調書（総括表）	1 1 頁
8	事業別実施状況調べ	1 2 頁
9	予備費の充用調べ	1 2 頁
10	繰越関係調べ	1 2 頁
	(1) 継続費逐次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
11	収入証紙取扱額調べ	1 3 頁
12	収入事務処理状況調べ	1 3 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 寄付金	
	(6) 諸収入	
	(7) 現金の取扱状況	
13	税外収入未済額調べ	1 4 頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	1 4 頁
15	税外収入不納欠損額調べ	1 4 頁
16	債務負担行為の状況調べ	1 5 頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	1 5 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(2-2) 補助金（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
	(4-2) 委託料（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	
18	工事請負費調べ	2 0 頁
18-2	工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの）	2 0 頁
19	財産に関する調べ	2 0 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
20	財産の貸付及び使用許可調べ	2 3 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの）	

21	借受不動産明細調べ	23頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	23頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
23	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	23頁
24	寄附物件の受納状況調べ	23頁
25	備品の処分状況調べ	23頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	23頁
27	貸付金等状況調べ	23頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	23頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>とっとり県民活動活性化センターについて（口頭指摘）</p> <p>一般財団法人とっとり県民活動活性化センターの支部設置については、平成25年度予算に必要経費が計上されていましたが、不執行となっています。</p> <p>不執行の理由として、センターの法人化に向けた体制整備や他の団体との調整に不測の時間を要したことなどが挙げられ、やむを得ない面がありますが、県民から、とっとり県民活動活性化センターの支部設置を望む声があるのも事実であります。</p> <p>については、今後、体制整備、職員のスキルアップ等を図りながら、地域の実情を踏まえた支部機能を検討すべきであります。</p>	<p>とっとり県民活動活性化センター（以下、活性化センターという）は、地域づくりに挑戦し地域の課題解決を目指す民間活動団体の核となって、本県の地方創生にチャレンジします。</p> <p>平成27年度より、県と活性化センターが共同で地方創生に関する相談等に対応するとっとり創生支援センター（以下支援センターという）を東部振興監東部振興課、西部総合事務所地域振興課及び活性化センター本部に設置しました。</p> <p>支援センターには、活性化センター職員が常駐しており、東部・中部の支援センターは、活性化センターの支部としての機能を併せ持ち、NPO活動等への各種対応、運営支援、団体訪問による地域でのネットワーク構築を今後も実施していきます。</p> <p>また、職員をNPO等の組織運営等の支援に関する知識を習得できる研修や中間支援組織で相談窓口業務や企画運営業務などの実務を行う中でノウハウを習得する研修に参加させ、職員のスキルアップを図っていきます。</p>

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
参画協働課	鳥取力づくり担当	・ 県民及び大学、研究機関、非営利公益活動団体等の団体と連携した地域づくりの推進に関すること。
	ボランティア・協働担当	・ ボランティア等の社会参加活動の推進及び総合調整に関すること。
	NPO活動推進担当	・ 特定非営利活動法人に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

種 別	事務職員		技術職員		現業職員		合 計		備 考
	27.4.1 現 在	26.4.1 現 在	27.4.1 現 在	26.4.1 現 在	27.4.1 現 在	26.4.1 現 在	27.4.1 現 在	26.4.1 現 在	
定 員	9	9	0	0	0	0	9	9	
現 員	(1) 9	8	1	1	0	0	(1) 10	9	育児休業中1名
過不足(△)	0	△1	1	1	0	0	1	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	0	1	0	0	0	0	0	1	

5 役付職員の調べ

(平成27年8月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
課長	松岡 隆広	2年 4月	
課長補佐	澤 雅子	4月	
課長補佐	玉野 俊雅	4月	
課長補佐	米山 真寿美	2年 4月	(3年4月)

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要																																
<p>鳥取力創造運動推進事業</p> <p>決算額</p> <p>47,360千円 (財源内訳)</p> <p>一般財源 9,302千円</p> <p>その他 38,058千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>Ⅱつなげる (2)真の協働 連携社会</p> <p>○政策項目</p> <p>1パートナー県政</p> <p>2鳥取力創造運動の展開</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>将来ビジョンで描く「活力 あんしん 鳥取県」の実現に向け、県民、NPO、住民団体などの様々な主体が協働・連携して、「鳥取力創造運動」(新たな地域づくり県民運動)を展開し、地域づくりに取り組む機運の醸成や、顔が見えるネットワークを構築するために必要な環境や支援のしくみを整備する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>1. 鳥取力創造運動支援補助金による支援</p> <p>県内で自発的に地域をより良くしていこうとする地域住民や活動団体、企業などが取り組むさまざまな地域づくり活動を支援した。</p> <p>また、26年度から新たに「ステップアップ型」を創設し、10事業を採択した。</p> <p><鳥取力創造運動支援補助金の実績></p> <table border="1" data-bbox="375 795 1476 1892"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象事業</th> <th>補助上限 (補助率)</th> <th>採択件数/申請件数 補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタートアップ型(新規)</td> <td>新規、試行的な事業 従前の取組みを拡充する事業</td> <td>10万円 (10/10)</td> <td>スタートアップ (新規) 67件/76件</td> </tr> <tr> <td>スタートアップ型(継続)</td> <td>前年度以前にスタートアップ型(新規)の補助を受けた取組みに工夫を加えて継続する事業</td> <td>10万円 (3/4)</td> <td>(継続) 43件/48件</td> </tr> <tr> <td>ステップアップ型</td> <td>前年度以前にスタートアップ型(継続)の補助を受けた取組みに工夫を加えて成長させる事業</td> <td>30万円 (3/4)</td> <td>ステップアップ 10件/11件 スタートアップ、 (新規・継続) ステップアップ計 12,385,172円</td> </tr> <tr> <td>発展型</td> <td>発展的な取組みで他のモデルとなり地域の活性化に寄与する事業</td> <td></td> <td>7件/13件 5,029,500円</td> </tr> <tr> <td>発展型(市町村連携コース)</td> <td>発展型の取組みで、かつ複数の市町村と協働・連携し、官民一体となって事業に取り組むことで新たな成果を生み出す事業(2ヶ年)</td> <td>100万円 (3/4)</td> <td>1件/1件 410,000円</td> </tr> <tr> <td>ネットワーク型</td> <td>複数の活動団体が協力・連携(ネットワーク化)して新たな成果を生み出す事業</td> <td></td> <td>3件/5件 5,099,900円</td> </tr> <tr> <td>ネットワーク型(市町村連携コース)</td> <td>ネットワーク型の取組みで、かつ複数の市町村と協働・連携し、官民一体となって事業に取り組むことで新たな成果を生み出す事業(2ヶ年)</td> <td>200万円 (3/4)</td> <td>1件/1件 100,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本事業は、平成22年度に設置した「鳥取力創造運動推進基金」の運用益及び基金の取り崩しで実施した。</p>	区分	対象事業	補助上限 (補助率)	採択件数/申請件数 補助額	スタートアップ型(新規)	新規、試行的な事業 従前の取組みを拡充する事業	10万円 (10/10)	スタートアップ (新規) 67件/76件	スタートアップ型(継続)	前年度以前にスタートアップ型(新規)の補助を受けた取組みに工夫を加えて継続する事業	10万円 (3/4)	(継続) 43件/48件	ステップアップ型	前年度以前にスタートアップ型(継続)の補助を受けた取組みに工夫を加えて成長させる事業	30万円 (3/4)	ステップアップ 10件/11件 スタートアップ、 (新規・継続) ステップアップ計 12,385,172円	発展型	発展的な取組みで他のモデルとなり地域の活性化に寄与する事業		7件/13件 5,029,500円	発展型(市町村連携コース)	発展型の取組みで、かつ複数の市町村と協働・連携し、官民一体となって事業に取り組むことで新たな成果を生み出す事業(2ヶ年)	100万円 (3/4)	1件/1件 410,000円	ネットワーク型	複数の活動団体が協力・連携(ネットワーク化)して新たな成果を生み出す事業		3件/5件 5,099,900円	ネットワーク型(市町村連携コース)	ネットワーク型の取組みで、かつ複数の市町村と協働・連携し、官民一体となって事業に取り組むことで新たな成果を生み出す事業(2ヶ年)	200万円 (3/4)	1件/1件 100,000円	
区分	対象事業	補助上限 (補助率)	採択件数/申請件数 補助額																															
スタートアップ型(新規)	新規、試行的な事業 従前の取組みを拡充する事業	10万円 (10/10)	スタートアップ (新規) 67件/76件																															
スタートアップ型(継続)	前年度以前にスタートアップ型(新規)の補助を受けた取組みに工夫を加えて継続する事業	10万円 (3/4)	(継続) 43件/48件																															
ステップアップ型	前年度以前にスタートアップ型(継続)の補助を受けた取組みに工夫を加えて成長させる事業	30万円 (3/4)	ステップアップ 10件/11件 スタートアップ、 (新規・継続) ステップアップ計 12,385,172円																															
発展型	発展的な取組みで他のモデルとなり地域の活性化に寄与する事業		7件/13件 5,029,500円																															
発展型(市町村連携コース)	発展型の取組みで、かつ複数の市町村と協働・連携し、官民一体となって事業に取り組むことで新たな成果を生み出す事業(2ヶ年)	100万円 (3/4)	1件/1件 410,000円																															
ネットワーク型	複数の活動団体が協力・連携(ネットワーク化)して新たな成果を生み出す事業		3件/5件 5,099,900円																															
ネットワーク型(市町村連携コース)	ネットワーク型の取組みで、かつ複数の市町村と協働・連携し、官民一体となって事業に取り組むことで新たな成果を生み出す事業(2ヶ年)	200万円 (3/4)	1件/1件 100,000円																															

2. 鳥取力実践団体登録制度

鳥取力創造運動に取り組む活動団体等を広く募集し、県が鳥取力実践団体として登録する制度(登録団体:293団体(平成27年6月5日現在))。

鳥取力応援・情報サイト(県のホームページ)において、鳥取力実践団体に登録した団体が自主事業のPRを行ったほか、各種情報の提供・共有・発信やネットワーク形成を行った。

3. 鳥取力創造運動活動表彰・鳥取力創造まつり

県内で、それぞれの地域や団体の特性などを活かし、意欲をもって地域づくり活動を積極的に展開している団体の優良事例を表彰することにより、鳥取力創造運動に取り組む団体の意欲の醸成及び認知度向上を図った。

また、新たな地域づくり県民運動である鳥取力創造運動をテーマとした「鳥取力創造まつり」を開催し、その機運を醸成するとともに、県内各地で実践される地域づくり活動の発表機会を提供し、地域づくり活動への参加意欲の向上を図った。

〈鳥取力創造運動活動表彰の実績〉

応募 32団体

最優秀賞 1団体、優秀賞 5団体に対し知事賞と副賞(最優秀賞 5万円、優秀賞 1万円)を授与した。

最優秀賞 福生東少年消防クラブ(米子市)「少年消防クラブを新しい核として行う地域防災力醸成活動」

優秀賞 うぐい突き保存会(鳥取市)「大堤のうぐい突き」
他 4 団体

〈鳥取力創造まつりの実績〉

開催日 平成27年2月28日(土)

場 所 倉吉未来中心

内容 ・トークセッション「観てよし 暮らしてよし とっとりのチカラ」

出演者：坂元英俊((株)マインドシェア)、阿部裕志((株)巡の環)、
上田啓悟(鳴り石の浜プロジェクト)、福井恒美(リアルマック)、岡崎隆司(鳥取県未来づくり推進局長)

・分科会「地域のおもてなしについて考える」他2分科会

各テーマに沿った活動団体の発表と、来場者の意見交換を実施

・鳥取力創造運動活動表彰公開プレゼンテーション及び表彰式

・各活動団体のPRブース出展(とっとり県民活動活性化センターなど
36ブース)

参加者 約520人

4. 鳥取力創造トーク

県内で地域づくり活動を実践する方々が一堂に会し、地域の実情や活動を進める上での課題・意見・ニーズ等についての意見交換を通じて、課題解決や今後の活動の円滑実施のための手がかりとするとともに、参加者間のネットワーク形成・交流促進を図った。

(各総合事務所、東部振興課が中心となって実施)

開催日	主な意見	出席者
H26. 8. 20 (西部)	<ul style="list-style-type: none"> 関係者間の情報共有により継続的な意見交換を行うことで地域間交流を促進することが可能となる。 イベント等の事業実施後も県内外の団体と連携してネットワークを形成していくことが必要である。 	ふれあいの郷かあら山他10団体、 とっとり県民活動活性化センター 県（西部総合事務所地域振興局、鳥取力創造課ほか）
H27. 2. 10 (鳥取)	<ul style="list-style-type: none"> 各地域にある自然の資源を生かした体験やワークショップなどを通して地域間の交流人口を増やすことが必要である。 田舎の人が町に住みたい人の支援をし、町の人が田舎に住みたい人の支援をしていくことで住みよい広域連携を実現できる。 高齢者の方の知識や経験を生かしてその方を教師として地域の人々が学ぶ。それに対して謝金を払うことで高齢者の生きがい作りにつなげていく。 	若桜鉄道 隼駅を守る会他6団体 鳥取市他3町 とっとり県民活動活性化センター 県（東部振興課、鳥取力創造課）
H27. 2. 14 (日野)	<ul style="list-style-type: none"> 補助金無しで活動できるようにしないと活動が長続きしない。 話し合いを行うことで日野郡内の類似イベントの集約と開催時期の分散ができればよい。 省コストで効率的に地域づくりを行うためには、横の連絡と縦の連絡が大事である。 日野郡がまとまったことが一つの成果 	奥日野ガイド倶楽部 他7団体 日野町他2町 県（日野振興センター、鳥取力創造課）
H27. 2. 27 (倉吉)	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが住んでいる地域をよく知り、その魅力を自らの言葉で発信する人材を育てていくことで県外の人たちに鳥取の魅力を伝えることができる。 地域のことを行政や地域住民と一緒に考える場を設け、危機感を共有するなかで真剣に難しいことを考えるメンバーと「楽しい」を軸に広げるメンバーを使い分けて仲間を増やしていくべきである。 	リアルマック他2団体 とっとり県民活動活性化センター 県（中部総合事務所、鳥取力創造課）他

5. 鳥取力創造運動PR事業

地元のマスコミとタイアップし、鳥取力創造運動支援補助金採択団体等の活動状況を記事体広告で掲載した。

〈活動団体の記事体広告の編集・取材、掲載〉

・文字400字程度、写真1点 12回（H26. 6～H27. 3）

〈鳥取力創造まつりの新聞広告掲載、新聞広告制作及び編集・取材〉

・全5段広告 1回（H27. 2. 5）

・全15段特集記事 1回（H27. 3. 18）

イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- 鳥取力創造運動支援補助金にステップアップ型を新設し、過去にスタートアップ型（継続）の補助を受けた事業で取組を成長させていくための事業の支援を行った。

ウ 成 果

【鳥取力創造運動支援補助金】

補助金の制度を充実し、あわせて132件の事業を採択・支援し、県内各所での新たな地域づくりの機運の醸成につながった。

- ・ 発展型事業のうち、倉吉市の「リアルマック」では、移住者の仕事創出と地域の課題解決を結びつけ移住者受入体制の充実を図るため、地元自治体と一体となって移住者と地域住民の交流会、移住者向け相談会の開催や鳥取県への移住者に対する取材を通じた移住者と仕事のマッチングサイトの構築・運営を行った結果、14件の問合せがあり、実際に鳥取県への3件の移住と4件の移住者の起業につながった。
- ・ また、琴浦町の「鳴り石の浜プロジェクト」では、「鳴り石の浜」を夕日の名所として売り出すため、夕日の写真コンテストを実施した結果、町内外から340点の夕日の写真の応募があり、応募作品のなかから優秀作品を選定した。夕日の写真を活用した町内大型ショッピングモールでの写真展覧会、夕日の写真集の作成、鳴り石の浜への夕日の写真看板の設置等により、多くの人々が美しい夕日を鑑賞するために鳴り石の浜を訪れる契機となった。
- ・ 発展型（市町村連携コース）事業のうち、「ムジークテアター・TOTTORI実行委員会」では、鳥取にオペラ文化を根付かせるため、平成26年8月3日に一般市民の参加によりオペラ公演を開催し、1,300人の観客が観覧した。山村を舞台とした演出での時代考証や広報面で鳥取市・智頭町と連携を行った。
- ・ ネットワーク型事業のうち、米子市の「中海オープンウォータースイム」では、環境問題と水泳競技の2つの要素を兼ね備えた官民一体型のイベントとして広く参加者を募った結果、県内外から187名（平成25年：168名）の選手が参加し、泳げる中海のイメージの定着を図った。得られた運営ノウハウや課題を踏まえ引き続き平成27年度も自力で継続開催されることとなった。
- ・ ネットワーク型（市町村連携コース）事業のうち、「鳥取中部イノシシ産業化プロジェクト」では、平成25年度にイノシシ捕獲体制の構築を図った上で捕獲された良質のイノシシ肉を販売促進するために県外の物産展やレストラン等へのイノシシ肉の売り込みや地元飲食店等での試食会を行った。イノシシを地域の宝とする産業おこしとブランド化を推進するとともに、イノシシの捕獲情報体制の充実や販売経路の開拓に県中部地域1市4町が連携して取り組んだ。
- ・ 25年度に補助金を受けた団体へのアンケート調査（回答：94団体、回収率：67.6%）では、①自分たちの活動等を発信し、外部の方にも興味を持ってもらうきっかけとなったと感じている団体が72%（68団体） ②補助事業を実施した後、何らかの波及効果が得られたと感じている団体が98%（92団体） ③補助事業終了後も活動を継続している・継続させていく意向をもっている団体が100%（94団体）という結果が得られ、補助金が団体活動の動機付けや意欲向上に一定の効果をもたらしていることがうかがえる。

【鳥取力実践団体登録制度】

- ・ 知事マニフェストの登録目標数が200団体（26年度末）であるところ、26年度末で288団体の登録があり、目標を達成することができた。今後、さらに登録のメリット等を訴えながら登録団体を増やしていくことが必要である。

【鳥取力創造運動活動表彰・鳥取力創造まつり】

- ・ 鳥取力創造運動活動表彰については、頑張っている団体を顕彰することは大変励みになるとの声が聞かれた。
また、鳥取力創造まつりは、初めて倉吉市で開催し、県内の移住定住や観光の地

域づくりをテーマにトークセッションや分科会等を行ったところ約520名の観覧客が来訪し、鳥取力創造運動を大いにPRすることができた。

【鳥取力創造運動PR事業】

- ・日本海新聞や鳥取力創造運動活動事例集にとりあげられた団体が、掲載された記事や紙面を団体のPR素材として使われたりするなど好評をいただいております、団体の活動の認知度向上に寄与することができた。

【鳥取力創造トーク】

- ・鳥取力創造トークでの意見交換を契機として、お互いの団体の活動状況の情報交換を行うことで、新たなネットワークづくりにつながった。

エ 課題

- ・鳥取力創造運動支援補助金については、新たな地域づくりの機運の醸成につながっている一方で、申請団体・内容も多種多様となってきていることから、それらの中でより「鳥取力」の向上に資する事業を見極めながら、活動の段階に応じてきめ細かく支援していくしくみとする必要がある。
- ・また、補助金の交付にとどまらず、団体の活動が継続していくための人材育成や継続的な資金調達のノウハウの指導、団体間のネットワーク形成を求める声があり、より総合的な支援策を検討する必要がある。
- ・補助金による団体単体への支援に限らず、団体活動をネットワーク化してつなぐ取組を支援し、「点」から「線・面」へ厚みを持たせる地域活動の支援が必要である。

事業名	概	要										
<p>とっとり県民活動活性化センター事業</p> <p>決算額 49,962千円 (財源内訳)</p> <p>一般財源 583千円</p> <p>その他 49,379千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅱつなげる (2)真の協働連携社会</p> <p>○政策項目 Ⅰパートナー県政 3ボランティア活動等の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 一般財団法人とっとり県民活動活性化センター（以下「センター」という。）にボランティア、地域づくり、NPO活動の支援業務を委託し、関係機関や行政等と連携しながら、県民による様々な活動の推進を図った。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="395 472 671 2056"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 472 671 510">区 分</th> <th data-bbox="678 472 1497 510">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 519 671 801">(1) 情報収集・発信事業</td> <td data-bbox="678 519 1497 801"> <ul style="list-style-type: none"> ・センターのチラシ等を作成し県内のNPO等へ配布するとともに、県内各地域に出向き、各事業に併せ、センターのPRを効果的に実施した。 ・県民活動に関する情報をウェブサイト、メールマガジン（16回配信）等により提供したほか、県が管理する「鳥取カサイト」においてイベント、研修、寄附、ボランティア、助成金等に関する情報の追加、編集、削除等を実施した。 ・NPO活動、ボランティア活動、地域づくり活動に関する情報誌『いまと、これから。』を3回発行した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 810 671 871">(2) 相談窓口体制の整備</td> <td data-bbox="678 810 1497 871"> <p>常設相談窓口を開設し、相談の受付・対応（116件）及び出前相談会（9回）を開催した。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 880 671 1632">(3) ボランティア活動支援</td> <td data-bbox="678 880 1497 1632"> <p>ボランティア活動の促進を目的として、以下の事業を実施した。</p> <p>ア ふるさとプロボノ事業 ボランティアを行う県外の専門家と受け入れる県内団体のマッチングを実施した。 特定非営利活動法人学生人材バンク（マーケティング基礎調査） ほか2団体</p> <p>イ プチ・ボランティアマッチング事業 参加しやすいボランティアの受入を団体に促した。 鳥取青年会議所（鳥取砂丘イリュージョンボランティア事業） ほか1団体</p> <p>ウ 高校生ボランティア企画助成事業 高校生が企画したボランティア事業に対して助成を行った。 とっとりハイスクールプロジェクト（トリプロフリーペーパープロジェクト事業）</p> <p>エ 「とりボラ委員会」の設置・開催 県内のボランティア活動の推進策を検討するため、多様なメンバーから成る委員会を設置し、東・中・西部で各2回（計6回）開催した。</p> <p>オ ボランティア活動に関する情報提供 ボランティア活動を広める講習会を東・中・西部で各1回（計3回）実施した。</p> <p>カ ボランティア支援組織ネットワーク会議の開催（1回）</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1641 671 2056">(4) 地域づくり活動支援</td> <td data-bbox="678 1641 1497 2056"> <p>地域づくり活動の継続・発展を目的として、以下の事業を実施した。</p> <p>ア 情報及び活動ノウハウ提供事業 ・鳥取県における地域づくり団体協議会の事務局機能を担い、ウェブサイト・メールマガジンを通じた情報発信等を実施した。 ・県内の地域づくり団体を訪問し、地域づくり団体協議会への登録を促進した（51団体登録）。</p> <p>イ 地域カパワーアップ研修の開催 地域力の向上を図るため研修会を実施した（1回）。</p> <p>ウ 地域づくり団体全国研修交流会 平成26年11月7日（金）～9日（日）に開催された「第32回地域づくり団体全国研修交流会三重大会」への参加支援及び事後研修を実施した。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	区 分	内 容	(1) 情報収集・発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・センターのチラシ等を作成し県内のNPO等へ配布するとともに、県内各地域に出向き、各事業に併せ、センターのPRを効果的に実施した。 ・県民活動に関する情報をウェブサイト、メールマガジン（16回配信）等により提供したほか、県が管理する「鳥取カサイト」においてイベント、研修、寄附、ボランティア、助成金等に関する情報の追加、編集、削除等を実施した。 ・NPO活動、ボランティア活動、地域づくり活動に関する情報誌『いまと、これから。』を3回発行した。 	(2) 相談窓口体制の整備	<p>常設相談窓口を開設し、相談の受付・対応（116件）及び出前相談会（9回）を開催した。</p>	(3) ボランティア活動支援	<p>ボランティア活動の促進を目的として、以下の事業を実施した。</p> <p>ア ふるさとプロボノ事業 ボランティアを行う県外の専門家と受け入れる県内団体のマッチングを実施した。 特定非営利活動法人学生人材バンク（マーケティング基礎調査） ほか2団体</p> <p>イ プチ・ボランティアマッチング事業 参加しやすいボランティアの受入を団体に促した。 鳥取青年会議所（鳥取砂丘イリュージョンボランティア事業） ほか1団体</p> <p>ウ 高校生ボランティア企画助成事業 高校生が企画したボランティア事業に対して助成を行った。 とっとりハイスクールプロジェクト（トリプロフリーペーパープロジェクト事業）</p> <p>エ 「とりボラ委員会」の設置・開催 県内のボランティア活動の推進策を検討するため、多様なメンバーから成る委員会を設置し、東・中・西部で各2回（計6回）開催した。</p> <p>オ ボランティア活動に関する情報提供 ボランティア活動を広める講習会を東・中・西部で各1回（計3回）実施した。</p> <p>カ ボランティア支援組織ネットワーク会議の開催（1回）</p>	(4) 地域づくり活動支援	<p>地域づくり活動の継続・発展を目的として、以下の事業を実施した。</p> <p>ア 情報及び活動ノウハウ提供事業 ・鳥取県における地域づくり団体協議会の事務局機能を担い、ウェブサイト・メールマガジンを通じた情報発信等を実施した。 ・県内の地域づくり団体を訪問し、地域づくり団体協議会への登録を促進した（51団体登録）。</p> <p>イ 地域カパワーアップ研修の開催 地域力の向上を図るため研修会を実施した（1回）。</p> <p>ウ 地域づくり団体全国研修交流会 平成26年11月7日（金）～9日（日）に開催された「第32回地域づくり団体全国研修交流会三重大会」への参加支援及び事後研修を実施した。</p>	
区 分	内 容											
(1) 情報収集・発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・センターのチラシ等を作成し県内のNPO等へ配布するとともに、県内各地域に出向き、各事業に併せ、センターのPRを効果的に実施した。 ・県民活動に関する情報をウェブサイト、メールマガジン（16回配信）等により提供したほか、県が管理する「鳥取カサイト」においてイベント、研修、寄附、ボランティア、助成金等に関する情報の追加、編集、削除等を実施した。 ・NPO活動、ボランティア活動、地域づくり活動に関する情報誌『いまと、これから。』を3回発行した。 											
(2) 相談窓口体制の整備	<p>常設相談窓口を開設し、相談の受付・対応（116件）及び出前相談会（9回）を開催した。</p>											
(3) ボランティア活動支援	<p>ボランティア活動の促進を目的として、以下の事業を実施した。</p> <p>ア ふるさとプロボノ事業 ボランティアを行う県外の専門家と受け入れる県内団体のマッチングを実施した。 特定非営利活動法人学生人材バンク（マーケティング基礎調査） ほか2団体</p> <p>イ プチ・ボランティアマッチング事業 参加しやすいボランティアの受入を団体に促した。 鳥取青年会議所（鳥取砂丘イリュージョンボランティア事業） ほか1団体</p> <p>ウ 高校生ボランティア企画助成事業 高校生が企画したボランティア事業に対して助成を行った。 とっとりハイスクールプロジェクト（トリプロフリーペーパープロジェクト事業）</p> <p>エ 「とりボラ委員会」の設置・開催 県内のボランティア活動の推進策を検討するため、多様なメンバーから成る委員会を設置し、東・中・西部で各2回（計6回）開催した。</p> <p>オ ボランティア活動に関する情報提供 ボランティア活動を広める講習会を東・中・西部で各1回（計3回）実施した。</p> <p>カ ボランティア支援組織ネットワーク会議の開催（1回）</p>											
(4) 地域づくり活動支援	<p>地域づくり活動の継続・発展を目的として、以下の事業を実施した。</p> <p>ア 情報及び活動ノウハウ提供事業 ・鳥取県における地域づくり団体協議会の事務局機能を担い、ウェブサイト・メールマガジンを通じた情報発信等を実施した。 ・県内の地域づくり団体を訪問し、地域づくり団体協議会への登録を促進した（51団体登録）。</p> <p>イ 地域カパワーアップ研修の開催 地域力の向上を図るため研修会を実施した（1回）。</p> <p>ウ 地域づくり団体全国研修交流会 平成26年11月7日（金）～9日（日）に開催された「第32回地域づくり団体全国研修交流会三重大会」への参加支援及び事後研修を実施した。</p>											

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県外研修視察補助 ネットワークはなみほか7団体 ・ 貸切バス利用（利用者30名） ・ 事後研修開催（1回） エ リーダー人材養成事業 まちづくりの担い手となる人材養成講座を開催した（8回）。 オ 鳥取力を実践し、トップランナーとなる団体の輩出支援事業 講座の開催や個別支援を実施し、全国的に評価されるような団体に育つよう、中期計画の策定を支援した。 支援対象団体：鳴り石の浜プロジェクト
	(5) NPO活動支援	<p>NPO等の育成・活動基盤の強化を目的として、以下の事業を実施した。</p> <p>ア 支援力向上研修 支援機関の人材育成に関して情報共有・協議を行った（2回）。</p> <p>イ 専門家の派遣による相談対応 ・ 専門家（士業）との意見交換会（1回） ・ 専門家アドバイザー派遣制度への登録（登録者18名）</p> <p>ウ NPOカルテの作成 きめ細かな相談対応を行うため、NPO法人のカルテの作成に着手した。 ・ 約250の県内NPO法人の公開データをもとにNPO法人の経営実態を調査した。 ・ NPO法人向けアンケート調査を実施した。 回収数：81法人（回収率32%、配付数255法人）</p> <p>エ 事務・会計支援事業 ・ 助成金合同説明会（3回：東・中・西部各1回） ・ 助成金活用セミナー（2回） ・ 春の民間助成金及び協働推進のための行政のしくみ説明会（3回：東・中・西部各1回）</p> <p>オ 事務力向上事業 地域づくり活動、NPO活動におけるノウハウの提供、団体の基盤強化を目的とした講座等を実施した。 NPO事務局セミナー&事務力検定（東・西部：全7回、中部：全5回）</p> <p>カ ネットワーク構築支援事業 NPO等同士や企業・NPO・行政等の交流会を実施した（6回）。</p> <p>キ 新たな価値創出支援事業 「市民コミュニティファンド（基金）」、寄付付商品やマッチングギフト等について情報収集や情報提供などを行った。</p> <p>ク 認定NPO取得支援事業 NPO法人認定取得支援&会計基準活用セミナーを開催した（3回）。</p> <p>ケ 非営利公益活動広報補助金交付事業 チラシ作りや、ウェブサイトの作成など団体の広報活動を支援する補助金を交付した（琴浦町の文化振興を図る会ほか18団体）。</p>
	(6) スタートアップフォーラム	<p>センターの周知と県民活動の機運を醸成することを目的として、一般財団法人とっとり県民活動活性化センター設立記念「つながるフォーラム」を開催した（参加者125名）。</p>
<p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 とっとり県民活動活性化センターは平成26年1月23日に一般財団法人として設立されたところであり、平成26年度は業務内容を充実させ様々な支援を実施した。</p> <p>ウ 成 果 ・ NPO法人、ボランティア・地域づくり団体または個人から116件の相談を受けた。相談内容としては、団体や法人の設立、組織運営、資金調達、助成金申請が多</p>		

く、認定NPO法人の申請や一般社団法人の設立相談、地域おこし協力隊の方の相談も受けるなど多岐に渡り、少しずつセンターの周知が図られてきている。

- ・ふるさとプロボノ事業では、受け入れ団体が自らの組織課題の改善に真摯に向き合うことで、首都圏や関西圏に在住のプロボノワーカーの高い専門性を引き出す好事例となった。
- ・ボランティア実践者から成る「とりボラ委員会」では、ボランティアマッチング（参加や受入）や鳥取県ボランティア総合情報サイト「ボラとり」の活用等について、今後の改善につながる様々な意見が出された。
- ・地域づくり団体への訪問活動や全国研修交流会での交流を通して、地域で活動している者と関係を深めることができ、地域力パワーアップ研修では県内における地域づくり活動の事例の共有もできた。
- ・NPO等の団体の基盤強化を目的とした講座等をNPO等の現状やニーズ等に応じて実施することにより、各団体の事務力向上につながった。
- ・民間団体と連携した「寄贈・助成プログラム」を立ち上げたことにより、各種助成金と合わせて県内の活動団体の資金獲得の手段の一つとなった。

エ 課 題

- ・とっとり県民活動活性化センターは平成26年1月から一般財団法人として本格的に活動を始めたところであり、県内での認知度は徐々に周知が図られてきているとはいえ、まだ十分とは言えない状況である。今後、ロゴと愛称の活用やウェブサイトのリニューアル等、多様なツールを活かした戦略的・効果的な情報発信を行っていく必要がある。
- ・相談体制については、センター職員の相談対応技術の向上に努めるとともに、専門家や経験ある活動者、行政や他の支援機関とのネットワークを広げることが必要である。また、現場を積極的に訪問し、NPOカルテの作成や対話を通じた支援ニーズの掘り起こしを進め、伴走型（寄り添い型）支援に取り組んでいくこととしている。
- ・公益法人として、積極的な情報の発信を進め、組織運営面からも社会的信頼を得られるよう努める必要がある。

7 決算調書

(総括表)

一般会計

(単位：円)

		予 算 現 額					決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A - B - C	備 考
		当初予算額	補正 予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
歳 出	一般管理費	0	0	0	198,950	198,950	198,950	198,950	0	0	0	
	企画総務費	4,528,000	0	0	0	4,528,000	4,459,825	4,459,825	0	0	68,175	
	計画調査費	126,782,000	0	0	0	126,782,000	106,159,495	98,326,365	7,833,130	100,000	20,522,505	
	労政総務費	8,895,000	0	0	0	8,895,000	8,880,730	8,880,730	0	0	14,270	
	合計	140,205,000	0	0	198,950	140,403,950	119,699,000	111,865,870	7,833,130	100,000	20,604,950	
同 上 財 源 内 訳	利子及び配当 金	29,691,000	0	0	0	29,691,000	34,947,393			0	△5,256,393	
	鳥取力創造運 動推進基金繰 入金	82,877,000	0	0	0	82,877,000	61,498,871			0	21,378,129	
	雑入	7,000	0	0	0	7,000	5,929			0	1,071	
	小計	112,575,000	0	0	0	112,575,000	96,452,193			0	16,122,807	
	一般県費充当	27,630,000	0	0	0	27,828,950	23,246,807			100,000	4,482,143	
	合計	140,205,000	0	0	0	140,403,950	119,699,000			100,000	20,604,950	

8 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(一般管理費)	198,950	198,950	0	0	赴任旅費
目 計	198,950	198,950	0	0	
(企画総務費) NPO活動基盤 支援事業	2,079,000	2,068,074	0	10,926	・NPO・ボランティア団体に対し、 助成金等の情報配信を行った。
鳥取・島根広域連 携協働事業	2,449,000	2,391,751	0	57,249	・両県のNPO等と行政が連携して行 う協働事業の提案を募集し、選考の うえ、1事業に助成。 (山陰癒しの森事業共同体)
目 計	4,528,000	4,459,825	0	68,175	
(計画調査費) (主)鳥取力創 造運動推進事業	49,759,162	47,359,046	100,000	2,300,116	
とっとり県民の 日総合推進事業	1,354,838	832,103	0	522,735	・公立学校における一斉取組の実施、 県立施設等の無料開放日の広報、大 型商業施設で「とっとり県民の日」 PRイベントを開催した。
協働提案・連携 推進事業	16,270,000	8,006,375	0	8,263,625	・鳥取県協働提案・連携推進事業補助 金審査委員会にて採択された4団体 に対し補助を行い、官民協働で事業 を実施した。
(主)とっとり 県民活動活性化 センター事業	59,398,000	49,961,971	0	9,436,029	
目 計	126,782,000	106,159,495	100,000	20,522,505	
(労政総務費) シルバー人材セ ンター活性化事 業	8,895,000	8,880,730	0	14,270	・(公社)鳥取県シルバー人材センタ ー連合会の各種事業及び運営経費に 対して補助を行った。
目 計	8,895,000	8,880,730	0	14,270	
合 計	140,403,950	119,699,000	100,000	20,604,950	

9 予備費の充用調べ

該当なし

10 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ 該当なし

(2) 繰越明許費調べ

(単位：円)

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				繰越理由	
				既収入特定財源		未収入特定財源			一般財源
						財産収入	その他		
計画調査費	鳥取力創造運動推進事業費	50,129,000	100,000			100,000		鳥取力創造運動支援補助金を受けた映画作成の事業について、出演者のやむを得ない都合や天候の影響等により撮影日が確保できず、年度内の事業完了が困難なため	
合計		50,129,000	100,000			100,000			

(3) 事故繰越調べ 該当なし

1.1 収入証紙取扱額調べ 該当なし

1.2 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料 該当なし

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
利子及び 配当金	利子及び配当金		26	34,947,393	34,947,393	0	0	鳥取県基金条例	鳥取力創造運動推進基金運用益
	計(節)		26	34,947,393	34,947,393	0	0		
本庁執行分計(目)			26	34,947,393	34,947,393	0	0		
出納機関執行分計(目)			0	0	0	0	0		
目計			26	34,947,393	34,947,393	0	0		
合計			26	34,947,393	34,947,393	0	0		

(5) 寄付金
 該当なし

(6) 諸収入

(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
基金繰入金	鳥取力創造運動 推進基金繰入金	鳥取力創造運動	1	61,498,871	61,498,871	0	0	鳥取県基金条例	鳥取力創造運動推進基金 の取り崩し
		計(節)	1	61,498,871	61,498,871	0	0		
本庁執行分計(目)			1	61,498,871	61,498,871	0	0		
出納機関執行分計(目)				0	0	0	0		
目計				61,498,871	61,498,871	0	0		
雑入	雑入	非常勤雇用保険 本人負担分	12	5,929	5,929	0	0		
		計(節)	12	5,929	5,929	0	0		
本庁執行分計(目)			12	5,929	5,929	0	0		
出納機関執行分計(目)				0	0	0	0		
目計				5,929	5,929	0	0		
合計				61,504,800	61,504,800	0	0		

(7) 現金の取扱状況
 該当なし

- 1 3 税外収入未済額調べ 該当なし
- 1 4 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし
- 1 5 税外収入不納欠損額調べ 該当なし

1 6 債務負担行為の状況調べ

事業名	種別	設定状況			当該事業の 契約額等	執行（支出）状況						備考
		議 決 (補正・当初の別)	期 間	限 度 額		設定年度の 執行額 A	債務負担行為の期間				合 計 A+B	
							25年度まで の執行額	26年度 執行額	27年度以降の 執行予定額	計 B		
鳥取力創造運動推進事業	補助金	平成25年3月 (当初)	平成26年度	円 510,000	円 510,000	円 0	円 0	円 510,000	円 0	円 510,000	円 510,000	
協働提案・連携推進事業	補助金	平成26年3月 (当初)	平成27年度	450,000	450,000	0	0	0	450,000	450,000	450,000	
合 計				960,000	960,000	0	0	510,000	450,000	960,000	960,000	

1 7 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額	区分	負担金の名称	支 出 先	負担率	支出年月日	支 出 金 額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備 考
企画総務費									
新規以外のもの							50,000		
本庁執行分計							50,000		
出納機関執行分計							0		
目 計							50,000		
合 計							50,000		

(2) 補助金

予算科目 (企画総務費)

- ① 国 補 分 該当なし
② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
							概算払 精算払 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日				
				交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取・島根広域連携 協働事業補助金 (26年度)									2,000,000	東部 振興 課へ 配当 替え
両県共通の地域課題に 対し、両県のNPO等と行 政が連携して解決して いく取組みを支援する もの										
本庁執行分計									2,000,000	
出納機関執行分計									0	
単 県 分 計									2,000,000	

予算科目 (計画調査費)

- ① 国 補 分 該当なし
② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
							概算払 精算払 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日				
				交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現 地 調 査 年月日				
協働提案・連携推進 事業補助金 (25年度)	NPO法人 森のようち えんまるた んぼう 外3件		7,731,358 (4件分)	—	—	H27.3.31	概算	H26.4.24 外	6,920,000 (4件分)	
地域課題解決のため、 「民」と「県」が協働で 実施することが適当な 事業について、事業計画 から事業実施までを民 間主導のもと官民協働 により実施するための 経費を支援するもの			(補助率：10/10、 上限200万円) 6,920,000	H26.3.13 外	—	—				
				H26.4.1	H27.3.27 外	H27.3.30				

補助金等の名称	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 又は内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考	
				交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 精算 の別	支出 年月日	金額		
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日					
本庁執行分計										22,163,382	
出納機関執行分計										7,781,190	各総合事務所
単県分計										29,944,572	

予算科目（ 労政総務費 ）

- ① 国 補 分 該当なし
② 単 県 分

(単位：円)

補助金等の名称 (補助金の創設年度)	交付先	間接	補助対象経費	実施計画承認 及び内示年月日	着手 年月日	額の確定 年月日	支出の状況			備考
				交付申請 年月日	完了 年月日	検査 年月日	概算 精算 の別	支出 年月日	金額	
事業の内容			補助率及び 補助金額	交付決定 年月日	実績報告 年月日	審査・現地 調査年月日				
鳥取県シルバー人材センター連合会 運営費補助金 (12年度)	(公社)鳥取県シルバー人材センター連合会		20,007,755	—	—	H27.5.7	概算	H26.4.9 外	8,869,000	
高齢者の就労を通じた 生きがいや社会参加の 促進をするシルバー人材センターの活性化を図るための助成			(補助率:1/2) 8,869,000	H26.3.25	—	—				
他の地方公共団体のみに交付するもので交付決定額が3,000万円未満のもの										0
本庁執行分計										8,869,000
出納機関執行分計										0
単県分計										8,869,000

(2-2) 補助金 (他県から予算の配当替えを受けて執行したもの) 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(単位：円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完 了 年月日 履行検査 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年月日	金 額	
				変 更 契 約 (最 終)			契 約 形 態					
					(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間						
計画調査費	単 県	平成26年度県 民活動活性化 事業委託	(一財)とっ とり県民活 動活性化セ ンター	58,776,006	(H26.4.1) 58,775,979	H26.4.1~ H27.3.31	H26.3.24 (免除)	H27.4.20	概 概 概 概 戻	H26.4.21	23,510,000	
				—	—	—	随	H27.4.28		H26.7.25	17,632,000	
				—	—	—	随	H27.4.28		H26.10.20	11,755,000	
	—	—	—	随	H27.4.28	H27.1.23	5,878,979					
	—	—	—	随	H27.4.28	H27.5.25	△9,397,008					
	単 県	鳥取力創造運 動PRに係る 広告業務委託	(株)新日本 海新聞社	3,083,400	(H26.4.24) 3,083,400	H26.4.24~ H27.3.31	H26.4.18 (免除)	H27.3.31	精	H27.4.17	3,083,400	
				—	—	—	随	H27.4.1				
	単 県	「鳥取力創造 まつり2015」運 営業務委託	(株)新日本 海新聞社	2,000,000	(H26.12.26) 1,518,970	H26.12.26 ~ H27.3.31	H26.12.19 (免除)	H27.3.31	精	H27.4.17	1,518,970	
				—	—	—	随	H27.4.1				
	単 県	新鳥取力サイ ト・総合ボラン ティアバンク 運用保守業務	(株)エッグ	712,800	(H26.4.1) 712,800	H26.4.1~ H27.3.31	H26.3.19 (免除)	H27.3.31	精	H27.5.1	712,800	
—				—	—	随	H27.4.17					
予定価格が50万 円未満のもの										368,868		
本庁執行分計										55,063,009		
出納機関執行分計										0		
目 計										55,063,009		
合 計										55,063,009		

(4-2) 委託料 (他課から予算の配当替を受けて執行したもの) 該当なし

18 工事請負費調べ 該当なし

18-2 工事請負費調べ（他課から予算の配当替えを受けて執行したもの） 該当なし

19 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成27年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
普通財産	グリーンスポーツ鳥取貸付地	鳥取市湖山町西2丁目254ほか29筆及び鳥取市湖山町南五丁目734番、735番、736番の一部及び737番ほか35筆	44,412.47	不明	減	H26.4.1	△44,412.47	不明	スポーツ課へ移管	—	0	0	
計			44,412.47	不明			△44,412.47	—			0	0	
合計			44,412.47	不明			△44,412.47	—			0	0	

イ〜ク 該当なし

ケ 有価証券

(平成27年3月31日現在)

区分	前年度末 (数量、金額)	本年度中		本年度末 (数量、金額)	法人名	備考
		増	減			
有価証券	400,000,000			400,000,000	24-1兵庫県公債(みずほ)	鳥取力創造運動推進基金
	40,000,000			40,000,000	24-1兵庫県公債(大和)	
	800,000,000		800,000,000	0	第59回大阪府公債	
	200,000,000		200,000,000	0	第57回大阪府公債	
	93,716,192			93,716,192	21-39兵庫県公債	
	401,640,822			401,640,822	第334回大阪府公債	
	200,000,000			200,000,000	第339回大阪府公債	
	150,000,000			150,000,000	22-3兵庫県公債	
	100,000,000			100,000,000	22-1兵庫県公債	
	200,000,000			200,000,000	21-14北海道公債	
	264,276,837			264,276,837	24-17愛媛県公債	
合計	2,849,633,851		1,000,000,000	1,849,633,851		

コ 出資による権利

(平成27年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出資金	30,000,000		30,000,000	0	株式会社SC鳥取	スポーツ課へ移管
拠出金	3,000,000			3,000,000	一般財団法人とっとり県民 活動活性化センター	
合 計	33,000,000		30,000,000	3,000,000		

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 840	円 10	円 82	円 768	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券	枚	枚	枚	枚	
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	円 840	円 10	円 82	円 768	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成27年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
49枚	0枚	2枚 3,000円	47枚

(3) 基 金

(平成27年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
鳥取力創造運動推進基金 (従来)	4,638,430,388円	(14,186,985円) 6,745,404円	(523,756,138円) 295,400,150円	4,349,775,642円	基金積立 平成27年5月29日 基金取り崩し 平成27年5月29日
合 計	4,638,430,388円	(14,186,985円) 6,745,404円	(523,756,138円) 295,400,150円	4,349,775,642円	

(4) 債 権

(平成27年3月31日現在)

債権の名称	前 年 度 末		本 年 度 中				本 年 度 末		備 考
	金 額	件数	増		減		金 額	件 数	
			金 額	件 数	金 額	件 数			
行政財産使用料	円 69,200	1	円		円 69,200	1	円 0	0	スポーツ 課へ移管
合 計	69,200	1			69,200	1	0	0	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物 該当なし

(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄付受納時の評価額が100万円以上のもの） 該当なし

21 借受不動産明細調べ 該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

23 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし

24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

25 備品の処分状況調べ 該当なし

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成27年3月31日現在)

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	出納員又は使用者職氏名	亡失、損傷年月日、時	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
ノートパソコン	1台	円 リース物品 (41,400)	主事 安岡 直子	H26.11.18 午後3時15分頃	鳥取力創造課 執務室	水筒を倒したことによるパソコンの破損	H26.11.18	無
公用車	1台	リース車両 (67,500)	課長 松岡 隆広	H26.5.16 午後2時40分頃	東伯郡湯梨浜 町中興寺340-1	駐車場で後進中、左後方に駐車していた自動二輪車の左ハンドルに接触	H26.5.16	無
公用車	1台	リース車両 (8,564)	土木技師 梶谷 彰男	H27.2.13 午後1時40分頃	鳥取市気高町 八束水姉泊	国道9号線を風雪の中走行中、強風にハンドルを取られ、道路縁石に左前タイヤホイールが接触	H27.2.13	無

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
26年10月29日	・有	・無	

27 貸付金等状況調べ

該当なし

○ 意見、要望等

該当なし

